

2025/11/16
エッサム神田ホール2号館

2025NGO日本女性大会 基調報告



国際婦人年連絡会 世話人
2025NGO日本女性大会 実行委員長
前田 佳子

はじめに

1975年「国際婦人年」に連絡会発足
国際婦人年テーマ：「平等・開発・平和」
第1回 国際婦人年日本大会 を開催

2025年 連絡会結成50周年
北京会議から30周年

大会テーマ：「わたしたちは歩みつづける
『北京+30』女性の権利は人権である」



歩みとネットワーク

「平等・開発・平和」の実現を目指して活動
8分野別委員会＋特別委員会（国連関係）

加盟団体：最盛期52団体 → 現在33団体
「プロジェクト つながる」で非加盟団体とも
連携拡大



任意団体

GeNuine



コロナ禍が連絡会 にもたらした変化

2020年3月11日 WHOによる
COVID-19パンデミック宣言

2020NGO日本女性大会 (11.8)
YouTube配信併用

連絡会セミナーもオンライン化
全国から参加可能に

対面機会減少の一方でアクセス
の平等性が向上

いまなお続く社会の課題

円安・物価高、雇用不安など生活
基盤の脆弱化

女性の非正規雇用率・賃金格差・
管理職比率の低さ

性別役割分担意識の根深さ

➡ ジェンダー平等政策の停滞



「連絡会50年の歩み」は「女性たちの
努力と連帯の歴史」

世代や立場を超えた協働で、次世代
へ理念を伝える

未来へ向けて



2020～2025年：社会の変化

パンデミック・戦争・災害・技術革新
・政治変動

社会の不安定化が女性・子どもなど弱い立場に影響

一方で、ジェンダー平等政策の動きも加速

CEDAW日本報告審議では、多くの勧告が出されている



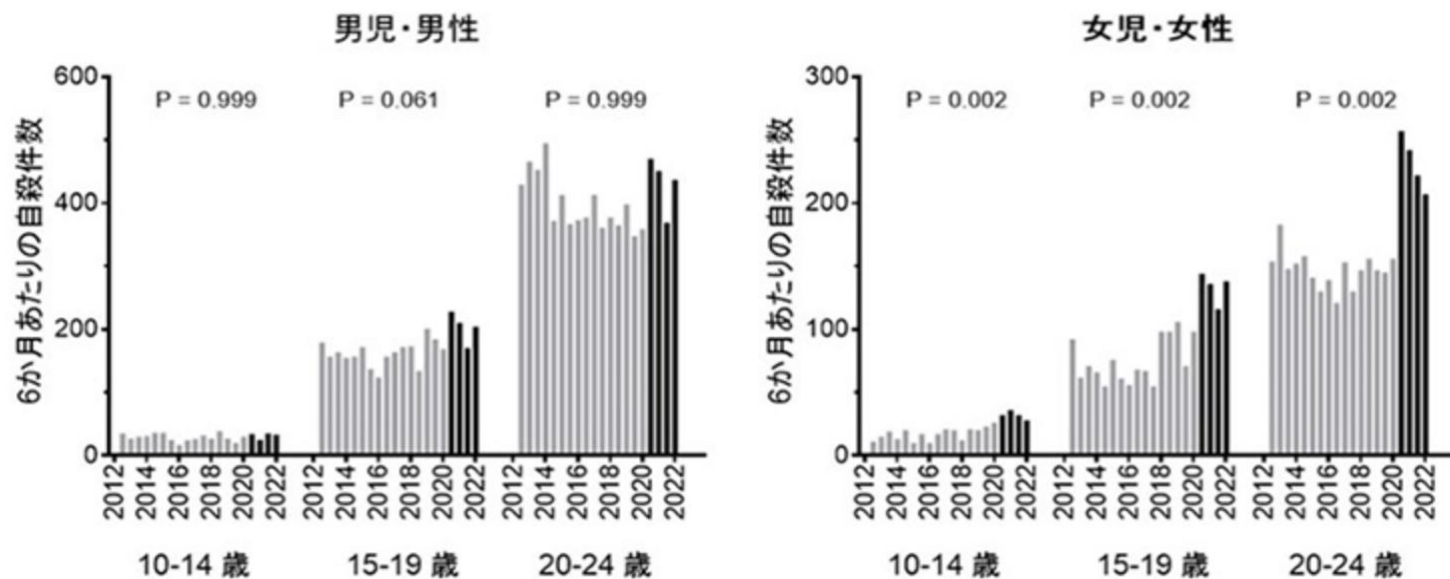
パンデミックの影響

非正規雇用・ケア労働の女性が大きな打撃

DV深刻化、経済的困難、女性・子供自殺率上昇

家事・育児など家庭内負担増加

➡ ジェンダー格差の可視化



A large, billowing mushroom cloud from a nuclear explosion dominates the left side of the image. The cloud is dark and dense at the base, with a bright orange and yellow fireball visible below it. The cloud rises high into the sky, with a lighter, more diffuse top. The background shows a dark, silhouetted cityscape at night, with some lights visible. The overall tone is somber and dramatic.

戦争と安全保障の転換

2022年2月 ロシアのウクライナ侵攻

2022年12月 安保三文書閣議決定

防衛費GDP比2%へ増額

軍拡路線と「新しい戦前」

2023年10月 パレスチナ・イスラエル
戦争

2025年11月 台湾有事は存立危機事態



災害と社会構造 の変化

2024年 能登半島地震

：避難・ケアで女性の困難顕在化

AI・5G・自動運転など技術革新

新たな格差・労働変化が進行

2025年問題

：高齢化と社会保障制度改悪の懸念

ジェンダー法制度の進展

選択的夫婦別姓制度 28年ぶりの審議入り

不同意性交等罪の創設（2023）

LGBT理解増進法成立（2023）

女性活躍推進法改正

2030年目標「女性30%」

育児・介護休業法 段階的改正



政治の変化

大阪・関西万博開催

与党が過半数割れ

高市早苗氏が初の女性総裁・総理

依然続く政治分野のジェンダー格差

➡ 女性の声を政策に反映させる課題





*Women Gather Together for
Gender Equality and Peace.*



これからの展望

戦争・軍拡・災害・経済格差・パンデミック・技術革新
「女性の権利と平和」を社会の中心に据える必要性
「女性の権利は人権である」理念

軍拡ではなく対話を、排除ではなく共生を
ジェンダー平等と平和の実現
連絡会は歩みを止めない